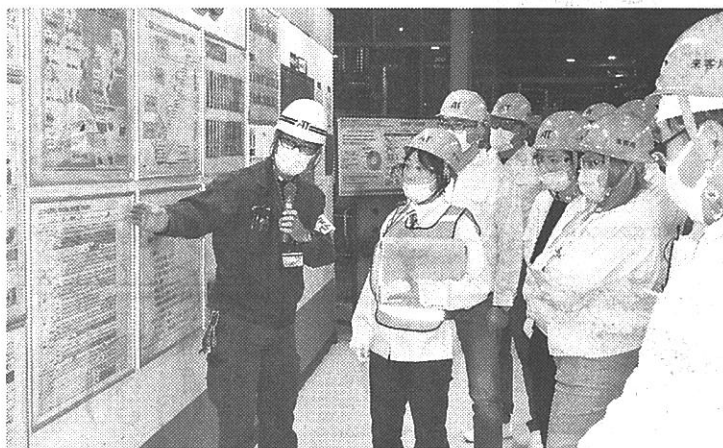


アイシン子会社で鍛造を手掛けるアイシン高丘(本社豊田市)はこのほど、ウズベキスタンの経営者らを中心とする1次産業が中心の産業構造に依存した経済構造の脆弱性がコロナ禍により顕著に

日本式経営ノウハウを学ぶ

ウズベキスタンの経営者らを引き、日本式の経営や教育の手法などについての研修会を行った。国際協力機構(JICA)の取り組みで、ウズベキスタンの中小企業経営者らが日本式経営のノウハウを学ぶ経営塾の一環。アイシン高丘の生産や教育の専門家らが教壇に立ち、製造現場の整理・整頓など5S活動や改善などについて細かく講義した。

ウズベキスタン人研修生招く アイシン高丘



工場見学で5Sや改善について学んだ

表れ、課題となっている。経営塾にはウズベキスタンの今後の産業の多様化を担う経営者らが参加し、日本企業の視察などを通して、経営ノウハウを学ぶ。

アイシン高丘では、売上高の約60%を海外拠点で計上しており、海外でのオペレーションを成功させるためのポイントなどを講義した。教壇に立った浅野裕律人事総務部教育センター主任は、技能伝承の重要性や、そのための教育手法などを講義した。その後参加者らは、工場を見学し、5Sや改善など、具体的な取り組み内容について学んだ。

経営塾研修生の1人は「講演を通じて『改善』の必要性、また、実際に見ることで手法を学べ、大変参考になった」と語った。